

被災地からの考古学 1

長谷川 文子
大の字子
長谷川 文子
長谷川 文子

福島県立博物館

平成27年7月18日(土) ▶ 9月13日(日)

福島県浜通り地方の原始・古代

東日本大震災で大きな被害を受けた浜通り地方も発災後4年が経過し、復興に向けた取り組みが徐々に進んできています。これまでの復興事業に伴う発掘調査により浜通り地方の新しい歴史が次々に明らかになってきています。今回の展示では、浜通り地方が福島県、東北地方、さらに日本全体の歴史の中で、どのような役割を果たした地域だったのかを解き明かしていきます。発掘資料のつぶやきから浜通り地方の意外な真実を発見できるはずです。

今回の企画展のシンボルカラーの赤は原始・古代の人々が再生・復活の色として使用していた色で、震災復興を祈念してこの色を採用いたしました。ポスターの顔はいわき市「荒田目条里遺跡」から出土した人面墨書土器に描かれた丈部手子磨(はせつかべてこまる)の顔です。



福島県浜通り地方は、東北と関東を繋ぐ南北文化の交流の地域と位置付けられます。縄文時代から平安時代にかけて、各時代の文化的要素を見ると、関東、東北、両者が折衷した文化の3様が見られ、時としてそれよりも遙か遠い地域の影響が見られる場合もあります。福島県は東北地方の玄関口として、南北二つの文化の橋渡しをしながら、独特の文化風土を形成した地域であったことが分かります。

東北の玄関口として、東北の特色と関東の特色の両方が交錯する現在の福島県の姿は、遠く縄文時代まで遡ることができることが展示を通してご理解いただけたと思います。

今回の展示では、新しい福島県の歴史を解き明かす取り組みの第一歩として浜通り地方の原始～古代を取り上げ、各時代において浜通り地方が南北交流の上でいかに重要な役割を果たしていた地域であったかを発掘資料を基に解説していきます。

新たなふくしまの未来に向けて、もう一度、私たちの足元の遺跡のつづやきに耳を傾けていきましょう。

夏の企画展

被災地からの考古学 1

○展示構成

序章 浜通り地方ってどんなところ？

浜通り地方の特徴を自然・民俗・歴史の分野の展示品をもとに考えます。

第1章 常磐道で行く遺跡の旅

南の茨城県境から常磐道の路線順に興味深い調査成果のあった遺跡を紹介します。

第2章 浜通り ふるさとお宝自慢

浜通り地方の各市町村で発掘調査された出土品のうち、ふるさと自慢の目玉資料を展示します。

第3章 浜通り 復興調査で大発見！

震災復興事業に伴う発掘調査によって明らかになった調査成果を紹介します。

第4章 浜通り発 ふくしまの顔

浜通り地方の出土品に表された縄文～平安時代までの顔を集めます。また、意外な人たちの顔も紹介いたします。

終章 浜通りの復興に向けて～文化財と地域の未来

文化財レスキュー事業や震災遺産保全プロジェクト事業などの取り組みを紹介するとともに、今後の復興に向けて文化財が果たす役割について考えます。

オリジナルグッズ製作ミステリーコーナー

展示室内に設置した製作コーナーで毎週日曜日、週替わりで以下の5つの製作メニューのどれか一つが行えます。さて、みなさんの来館する日曜日には、どの体験ができるでしょうか。それは、来てからのお楽しみです。

<オリジナルグッズ製作メニュー>

- ①縄文アートで名刺作り
- ②紡錘車とビーズで腕輪作り
- ③埴輪パズルを作ろう
- ④木簡しおりを作ろう
- ⑤経塚ストラップを作ろう

-福島県浜通り地方の原始・古代-

◇主な展示資料

旧石器時代
縄文時代
弥生時代
古墳時代
飛鳥時代
奈良時代
平安時代

大谷上ノ原遺跡出土石器（楡葉町）・萩原遺跡出土石器（南相馬市）
道平遺跡出土土偶（大熊町）・前山A遺跡出土土器（富岡町）
白岩堀ノ内遺跡出土鉄製銚先（いわき市）・天化沢A遺跡出土石器（南相馬市）
丸塚古墳出土埴輪（相馬市）・鹿屋敷遺跡出土土器（浪江町）
善光寺窯跡出土資料（新地町）・郡山五番遺跡出土瓦（双葉町）
桜田IV遺跡出土土器（広野町）・横大道遺跡出土製鉄関連資料（南相馬市）
大猿田遺跡出土木製品（いわき市）・上ノ原経塚出土経典（いわき市）

○企画展関連講演会

第1回 「ふくしま復興調査元年—阪神淡路大震災と東日本大震災—」

日時：平成27年7月25日（土）午後1時30分～ 会場：当館講堂

講師：兵庫県立考古博物館埋蔵文化財課長 山本 誠 氏

第2回 「復興調査最前線1～派遣職員が見たふくしまの遺跡」

日時：平成27年8月8日（土）午後1時30分～ 会場：当館講堂

講師：公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 天本 昌希 氏
京都府教育委員会 中居 和志 氏

第3回 「浜通り地方から福島県の古代を読み解く1」

日時：平成27年8月15日（土）午後1時30分～ 会場：当館講堂

講師：当館学芸員 荒木 隆

第4回 「復興調査最前線2～浜通り地方市町村教育委員会の調査」

日時：平成27年9月5日（土）午後1時30分～ 会場：当館講堂

講師：公益財団法人いわき市教育文化事業団 木幡 成雄 氏
南相馬市教育委員会 荒 淑人 氏

※この企画展は、下記の会場に巡回いたします。

いわき市考古資料館：10月3日（土）～12月14日（月）
南相馬市博物館：平成28年1月16日（土）～3月6日（日）

○企画展解説会

当館企画展担当学芸員が古墳時代の埴輪を基に復元した古代衣装を着用して展示解説を行います。

日時：会期中の日曜日及び祝日、
県民の日の午後2時～3時

企画展関連講演会終了後
午後3時～4時

講師：当館学芸員 荒木 隆

福島県立博物館

平成27年7月18日（土）～9月13日（日）

●お問い合わせ先

福島県立博物館 ～ Fukushima Museum ～
〒965-0807 会津若松市城東町1番25（若松城公園内）
TEL 0242(28)6000 FAX 0242(28)5986
ホームページhttp://www.general-museum.fks.ed.jp/
メールアドレスnetmaster@general-museum.fks.ed.jp

●ご利用案内

（入館は午後4時30分まで）

開館時間 午前9時30分～午後5時
休館日 月曜日（ただし7月20日・8月10日は開館）
7月21日（火）が臨時休館日になります
企画展 一般・大学生500円（400円）
観覧料 高校生300円（240円）
小・中学生200円（160円）
※（ ）は20名以上の団体料金

●交通案内

■JR会津若松駅から約3km ■タクシーで約10分
■会津若松駅ハスターミナルから
まちなか周遊バス 「ハイカラさん」
約20分（三の丸口下車すぐ）
まちなか周遊バス 「あかべえ」
約30分（三の丸口下車すぐ）
■磐越自動車道 会津若松ICより約6km（車で約20分）